

## プロフィール

久保 大憲 (くぼ ひろのり)

1978年8月1日 富山市出身

- 富山市立堀川南小学校 卒業
- 富山市立堀川中学校 卒業
- 私立富山第一高等学校 卒業
- 国立名古屋工業大学工学部 卒業
- 土木建設コンサルタント会社で5年間勤務  
(主に公共事業の計画策定を担当)
- 東日本大震災避難者生活支援団体  
「とやま 311 ネット」代表(現在は解散)  
(厚生労働大臣より感謝状を授与)
- 富山県議会議員奥野詠子 元秘書
- 富山市議会議員(1期目)

## 主な活動・実績

- 富山市行政改革推進委員(平成20~22年)
- 自民党富山県支部連合会青年局主催政策コンテスト  
最優秀賞(平成24・25年度)

## 議会での役職

- 常任委員会  
厚生委員(H29~H30)  
福祉保健部・子ども家庭部・環境部・市民病院等  
総務文教委員(R1~R2)  
企画管理部・教育委員会・財務部等
- 特別委員会等  
政務活動費のあり方検討会 副座長(R1~)  
議会改革検討調査会 委員(H29~)  
議会報編集委員会 委員(R1~)



野上農林水産大臣と(2020年12月)

KUBO HIRONORI

市民満足度向上宣言。

くぼ  
久保  
ひろのり  
富山県議会  
自由民主党  
42歳



2017年に当選以来、3年半が経過しました。  
その間、自民党会派所属の議員として全ての定例会で質問をしました。

質問の多くは、後援会員や地域のみさんから頂いた要望やご意見から、現在の富山市の取り組みを調査し、所管の省庁の担当課や他市の先進事例を調査し、課題を明確にし、解決方法についても提案をするよう心がけてきました。

議会以外でも、地域の様々な要望に加え、個人的な相談にも真摯に取り組みました。

その課程の中で、市職員と多くの議論を重ね、信頼関係を構築できたことで、丁寧に対応頂けるようになり、議員としてのやりがいを日々感じています。

コロナ禍により、富山市は税金など歳入が大幅に減ることが予想されますが、富山市の果たす役割は増えていきます。

私が掲げる「市民満足度の向上」は予算規模とは必ずしも比例しないと考えています。

一方的に押しつけることをやめ、市民のみなさんと向き合い、手を取り合い、将来を見据えることで、我慢することが増えても満足度は向上できると信じています。この政治信条に共感し、ご支援をいただければ幸いです。



## 「選択と集中」に向き合う

人口減少・少子高齢化の中では「選択と集中」は必要不可欠です。しかし、厳しい選択は「迫る」「突きつける」のではなく、そこに住む人たちと導き出すことが重要と考えます。地域政党である自民党の一員として「あきらめる」ではなく「納得」してもらえよう取り組みます。

ごあいさつ

久保ひろのり  
メッセージ  
Message



# できることが限られる「今」だからこそ 将来に問題を先送りせず、 議論と理解を深める

## 市街化区域内の用水路について

**現状** 市街化区域内の農家・農地は減少し  
用水路は農業用から雨水排水用へ変化

**議論すべき点** **「今後の維持管理」**  
農業用以外の用水路は生産組合主体  
から改修や修繕は行政へ・維持管理は  
地域へ

## 市民病院の建て替えについて

**現状** 高齢化・狭隘化により  
早急な建て替えが必要

**議論すべき点** **「市民病院のあり方」**  
● 移転先  
● 地域医療構想を踏まえた役割の整理  
● 富山市医師会との連携強化

## 空き家対策について

**現状** 特に市街化区域内で  
空き家が増加

**議論すべき点** **「既存宅地の利活用」**  
● 都市計画の見直しによる新しい宅地  
造成の抑制  
● 市街化区域内の農地保全

## いじめ問題について

**目標** 「いじめのない社会」という理想を目指し  
「いじめのある社会」を生き抜く力を養う

**議論すべき点** **「子どもの心と命を守る」**  
● 積極的な「いじめ」の認知  
● 学校と家庭の連携強化  
● スクールカウンセラーやスクール  
ソーシャルワーカーの拡充

## 持続可能な公共交通について

**目標** 上滝線の市電乗り入れ・LRT化  
交通空白区の支援拡充

**議論すべき点** **「誰もが暮らせる街づくり」**  
● 上下分離方式導入の可能性調査  
● 鉄軌道沿線に公共施設の再編整備  
● コミュニティバスの支援拡充

- 14回 全ての定例会で質問(平成29年度～現在)
- 質問時間は全議員の中でダントツ1位 810分
- 原稿を読み上げる一括質問ではなく、  
その場で意見をぶつけ合う一問一答形式

多くの市民の方が傍聴に訪れ「わかりやすかった」「面白かった」  
「勉強になった」と好評でした。興味のある方は議事録と動画が  
富山市議会のホームページからご覧いただけます。



コロナ禍により令和3年度の富山市の  
歳入(税収など)は大幅に減る見込みです。

そんな時だからこそ  
「地域の絆」を深め「共助の力」を強化!

## 住民自治・市民活動の活性化

- 1 自治振興会・町内会の取り組みを支援
  - 自治振興会・町内会の取り組みを支援
  - イベント行事や自主防災活動などへの支援拡充  
(住民運動会・成人式・敬老会・納涼祭・お神輿・獅子舞 など)
- 2 地域情報発信の強化(IT化の推進)
  - 意外と知らない隣の活動!?
  - 発信することで「モチベーションの向上」
  - 「いい取り組み」水平展開  
→極めの細かい情報を提供することで移住・定住促進
- 3 NPO法人への支援強化
  - 社会や地域課題を解決するために活動している  
団体への支援強化

## 市民に明るい話題と希望を

### 富山市のスポーツ振興を支援

- 富山グラウジーズの支援強化  
日本一を目指して官民連携した支援の強化
- 部活動・スポーツクラブの支援強化  
世界で戦うトップアスリートを輩出できるような環境整備

